

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年12月16日

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

3歳児…大根どんな匂いがするのかな？

<テーマ設定理由>

園の畑で育てていた大根が収穫時期を迎えたため、「大根を抜いてみよう」と子どもたちに提案した。すると「抜いてみたい」「触りたい」と興味を示し、実際に自分の手で大根を抜く姿が見られた。採れたての大根に触れる中で、「どんな匂いがするのかな」と鼻を近づけて匂いを嗅ぐ姿があり、そこから葉や根、土のついた部分など、さまざまなところの匂いを比べて楽しむようになった。また、「どうなっているのかな」と形やつくりにも関心が広がり、観察しながら確かめようとする姿が見られたことから、今回の探究活動へとつながった。

## 2. 活動スケジュール

- ・興味を持った子が集まり、探究活動をする。
- ・畑の大根を抜く
- ・室内に持ち帰り、大根の葉を契る、触る、嗅ぐ。

## 3. 活動の為に準備した素材や道具、環境設定

- ・大根 2本
- ・ほうれん草
- ・製作シート
- ・黒い画用紙
- ・テーブル2台

<活動内容>

園庭の畑から抜いた、土のついたままの大根を見たり触ったりしながら観察していると、葉がたくさんついていることに気づき、子どもたち自ら大根から葉を取ってみる姿が見られた。葉の感触や匂いを確かめたり、大根から根（ひげ根）が出ていることに気づいたりする中で、触って感じたことを言葉にして表現していた。また、「大根の中はどうなっているのだろう」と興味を広がったため、保育者が大根を切ってみせると、「大根だ！」「白い」と声が上がりと、子どもたちは自分のイメージしていた大根と目の前の断面を結びつけながら納得する様子が見られた。さらに、葉を小さくちぎったり揉んでみたりしながら、気になる子は満足するまで繰り返し試し、じっくりと探究を楽しんでいた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



- ・一人では、大根がなかなか抜けず友達と一緒に引っ張ると「うんとこしょ、どっこいしょ」と掛け声を掛け合う。
- ・大根がぬけると「うわー大根だ」と言う。
- ・葉を触りながら「くすぐったい」「ちくちくしてる」「いっぱい生えてる」と観察する。
- ・大根のひげ(根)を見つけ「なんか出てる」「おひげみたい」「ふわふわしてる」と優しく指先で触れる。
- ・葉を大根から契ると「大根の匂いがする」「固い」「虫みたい」と葉の形をイメージした物に見立てたり、茎の根本と葉の先の匂いを嗅ぎ比べる。
- ・大根を断面で切り、中はどうなっているのか観察すると「白いね」「つるつるしてる」「水が出てきたー」と指で触ってみる。
- ・黒い画用紙にスタンプしてみると、大根の筋が写り「しわしわの唇みたい」と写し出されたスタンプの様子を観察する。
- ・葉を契りながら友達に「ここ、チクチクしてるから触ってみて」と触り比べて感触を楽しむ。

## 5. 振り返り

- ・大根の収穫では一人の力では抜けず、「抜けないよー」と声にすると、その声を聞いて自然と子どもたちが集まり、力を合わせて抜こうとする姿が見られた。協力して抜けた瞬間の手ごたえや達成感を皆で味わえ、抜けた大根を見て「大根だ」と目を丸くする表情が印象的だった。
- ・その後、葉や大根を触りながらじっくり観察する姿が多く見られ、活動は探究へとつながっていった。身近な野菜でも、土のついた状態で手に取ることで新鮮な驚きがあり、「どうなっているのかな」「どこまでつながっているのかな」と興味を引き出すことができた。
- ・葉をちぎったり揉んだりして試す中で、「大根のような匂いがする」と気づく子が出てきて、その発見を友達に伝え合う場面が見られた。自分の経験を言葉にして共有しようとする姿から、気づきを広げていく力の育ちを感じた。
- ・一方で、葉脈や大根の断面など細かな部分をより深く観察できるよう、虫眼鏡などの用具を事前に用意しておけば、さらに探究が深まったと考える。次回は観察しやすい環境を整え、子どもたちの「もっと見たい」を支えていきたい。